

書き損じハガキ、(未使用)切手を送ってください!



ご家庭や会社などで書き損じのハガキ、スタンプを押していない切手など眠っていませんか? 自立生活部門ではこれらを集めて活動資金にあてたいと思っています。ご協力をお願いします。

ご協力ありがとうございます

〈後援会費を振り込んでいただいた方〉(敬称を略させていただきます)

竹川節子 竹内進 長田・河合市民法務総合事務所 田中誠 中林恵子 大谷強
木村多加緒 東大阪市教職員組合 久保田卓 梶山太一 柳久子 佐々木敏子
アトリエ・ホロニカ 吉田和子 尾崎文彦 鳥取県立精神保健福祉センター

〈カンパ・寄付をいただいた方〉

ヒューマンケア協会 矢口功 下農美智子 吉安宣子 橋本幸子 岡本多恵子
楠永哲夫 青山純代 赤川由里子 鳥取県立精神保健福祉センター

〈書き損じハガキ・未使用切手・未使用テレホンカードをお送りいただいた方〉

佐々木節子 有久幸子 藪内久仁子

〈外へ飛び出すためのカンパをいただいた方〉

柳久子

「障害者自立、相談のるで！」

4月にオープンした、自立生活支援センター「わくわく」では、知的障害を持つ方の相談を受けています。現在、15件以上の電話相談があり、面談を行いました。相談を受け持つのは、メンバーリーダーの生田進。

生田:「障害者は、自立のことを真剣に考えたほうがええ。いずれ、お父もお母もおらんようになってしまふで。車椅子やったら一人暮らしには介護者がいるで。ご飯はホームヘルパーがおればいけんことはない。おれの話聞いてくれるなら、相談のるで」

自立生活支援センター電話番号 0729-60-3611

FAX 0729-60-3613 E-mail WakuWaku@abox4.so-net.ne.jp



パンジーでは、
後援会員を募集
しています

賛助会員	1口	1ヵ月	500円
本会員	1口	1ヵ月	1,000円
特別会員	1口	1ヵ月	5,000円
郵便振替番号	00950-1-300551		
クリエイティブハウス「パンジー」			

編集人 東大阪市東鴻池町2-4-8
クリエイティブハウス TEL:0729-63-8818
“パンジー” FAX:0729-63-8825

発行人 関西障害者定期刊行物協会
大阪市城東区東中浜3-5-16
タイガーマンション1F101号

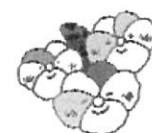
一九九六年五月一日

第三種郵便物認可

毎日発行

領価二五〇円

KSKR
No.40



パンジー

発行 2000年7月
編集 クリエイティブハウス
“パンジー”

松本洋平

「いっちょ やってるで！」



「今年の夏は、ほんまに暑かったな〜」と誰もが口にするぐらいの20世紀最後の夏。残暑もまだまだ続く気配ですが、新秋刀魚を煙り高く焼き、秋限定のビールをすじ雲を仰ぎながらゴキョツと一杯、そんなささやかな楽しみに秋が待ち遠しい私ですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

パンジーもパンジーⅡも落ち着く時間ってどこにあるの?と思うぐらい毎日に変化し充実し迷って、そして闘いながら日々が積み重なっているように思います。

さて、講演会活動では、今までで最も遠い会場の福岡県直方市に、育成会の本人部会から依頼をうけて行ってきました。往路はメンバーも支援者も初体験という、瀬戸内海を横断する大型船で進路を九州に。台風が九州付近に停滞していたので、波の高さを心配していましたが、穏やかな航海、そして明石海峡大橋や瀬戸大橋の美しいイルミネーション、極めつけは上空満点にきらめく無数の星と天の川…。旅行気分。でも、会場に着き講演が近づくともメンバーは真剣な目つきに変わり、緊張と不安が入り交じります。講演メンバーのリーダー的存在の生田さんが「さあ、一丁やるで」と一声かけると、他のメンバーも支援者も気持ちが引き締まり、よい雰囲気になり、さすがです。質問コーナーでは本人部会の方々が熱心な質問を多数だされ、インタビュアーがバテてしまう一幕もありました。

一方、地元大阪では障大連による対府交渉に向けての決起集会とデモ行進が行われ、パンジーも気合いを入れて参加しました。そして、8月には対府オールラウンド交渉が始まり、グループホームで車イス生活をしている岡本さんは、「府営住宅の風呂が狭いんや、なんとかしてくれ」。梅原さんも「ナイターの阪神戦が観たいんや、なんで夜にガイドヘルパーが使われへんねん」と府に投げかけました。この2つの要求は格別に贅沢な訳でもなく、無理な要求でもありません。個人のささやかな楽しみで、当たり前の生活の一部です。大阪府には理解力があるでしょうか?

(竹内)

一九九六年五月一日

第三種郵便物認可

毎日発行

領価二五〇円



チーズスティックパンに、モロヘイヤパン！

残暑厳しい折、皆様いかがお過ごしでしょうか。「暑い、暑い」といいながらもパン工場の中は空調が効いて「快適」とまではいかないまでも、まあ過ごせてます。

さて、4月からほぼ半年が過ぎ、新しくパンジーに入ったメンバーも、仕事に余裕が出てきたように思います。朝早く来て、同じく朝一番に来るTさんとおしゃべりしながら一緒に洗濯物のタオルをたたむYさん。「ごまの量が多いでえ」と冗談をいいながらパンに卵を塗ってくれるMさん。何よりも仕事が丁寧で、ラベル貼りは職員以上に上手なUさん。それぞれ自分にあった仕事を見つけ、自信を持って働いています。

ところで、パン屋では9月から幼稚園の給食を手掛けることとなりました。週1回のパン給食に毎回違ったメニューを提供するとあって、参考書を片手に現在、新たなパンを開発中。チーズスティックパンやモロヘイヤパンなどいろいろ試作しては皆のおやつに。

「この生地にはバターでなくショートニングを使うのか、フーン…」とメンバーも職員も新しい技術にチャレンジしています。さすが！ 給食用のパンを請け負うというのはパン屋としては初めての試みで、衛生面やら何やらと結構大変ですが、それも含めてメンバー・職員一緒になって生き生きと作りだしていく、そういうパン屋にしていけたらいいなと思っています。

(うめもと)



さをり織りの「さ」は、差異の「さ」

4月から、さをり織りの先生が来て下さるようになって4か月が経った。長年、実践を積まれた先生のアドバイスはいつもわかりやすい。「こんなさをりもあるのよ」と毎回、作品を持参して見せてもらい、その種類の多さ、自由さに驚きながら新しい試みを続けている。今まで知らなかったこと、曖昧だったことがアドバイスをもらい、

すぐ体験できるというのは本当に嬉しい。材料を用意して皆と新しい織りをやってみる。ゆっくりとその人に任せて取り入れていく。そして、いつのまにかその人独自の織りになっているのを見ると、もともとあった感受性がパッと広がっていく様に感じる。さをりの「さ」は



ガイドヘルパー物語

上中智子

私がガイドヘルパーをはじめて一年余りになります。あっという間に一年が過ぎたけれど一回一回の外出で本当にいろいろなことがありました。初めのうちは、メンバーさんとかかわり方にととてもまどい「わくわく活動」が私にとっては「どきどき活動」になっていました。外出を楽しむというよりも大きな失敗をしないように気を付けるので精一杯でした。でも今では毎週土曜日がとても楽しみにになりました。

最近は奈緒さんとの外出が多く、毎回奈緒さんの違う表情や新しい技を見れるのがとても楽しみです。プールでの奈緒さんは真っ白なキレイな肌でみんなの注目を浴びています。そして突然水の中に顔をつけて口に水をためてピューッと飛ばす技を見せてくれます。それと奈緒さんは音楽好きです。私が歌を歌うと手をたたいて喜んでくれるし、外で演奏している人達のところへ踊るように跳びはねながら近づいていて一番目立っているのは奈緒さんという時もありました。本当に奈緒さんとの外出は楽しいことがいっぱいです。私は奈緒さんに自分の最近の出来事や好きな人のことも全部話して相談を聞いてもらっています。だから私のことを一番知っているのは奈緒さんかもしれません。

奈緒さんだけでなくほかのメンバーさんとも楽しい思い出がたくさんあります。

ガイドヘルパーという役割は単にメンバーさんの横にいただけではなく、メンバーさんに少しでも楽しんでもらえるように工夫し、友だち同士で遊びに行くように感じてもらうことだと思います。また、そう感じてもらえたら嬉しく思います。ガイドヘルパーとしていろいろな所へ行き(ほとんどプールでしたが)いい勉強をさせてもらい、また楽しい思い出もできて私にとってはプラスになる事ばかりです。メンバーさんも職員さんも、おもしろい人ばかりでパンジーの楽しい雰囲気が大好きです。これからもメンバーさんともっと仲良くなっているいろんな経験をして、いつもわくわくするような活動にしていきたいです。

わくわくだより

自立と、暑い夏



今年は、とにかく暑い夏でした。でもパンジーでは、暑かったのは夏のせいだけではありませんでした。メンバーのNさんがこの夏、「家には帰らない、自立する！」と宣言したのです。今年の4月からパンジーⅡに移り、頑張りすぎるほど頑張っていたNさんでしたが、6月頃から調子を崩し始めました。食事をとらない、夜眠れない、怒ったり、叫んだりする毎日が続きました。原因もわからず本人はもちろん、職員、グループホームの介護者もう限界と思ったある日、前述の宣言をしたのです。「家を出たい」の一言をいうのにこれほどのエネルギーがいるのか！という驚きと、これから彼を支えていくための体制をどうやってつくろう、という不安で私たちはまたパニックになりました。でもとにかく、彼が私たちの支えを必要とするなら、やっていくしかない。

家族の方たちとも話し、とにかくNさんのグループホームでの新生活が始まりました。始めてみたものの、Nさんにとってグループホームは、「安心して落ち着ける生活の場」には、なかなかならず、毎日のように出歩き、介護者を振りまわします。‘誰も指図するな、やりたいようにさせろ！’と言わんばかりにしたい放題のNさんに「制限せず、したいようにするのがいい」「したいことだけするのが自立？ 自立って一体何？」など職員、介護者間でも色んな見解が出されました。Nさんの様々な要求の裏に潜んでいる「本当に望むこと」を見破るのは至難の業です。でも少しずつ見破っていくことで、より信頼し合いた

いとみんな願っているのですが、関わる側が「自立」という言葉に混乱し、それがNさんをより不安にさせることにもなりました。

夏休みが明け、少しずつ落ち着きを取り戻してきたNさん。パンジーの暑い夏もそろそろさわやかな風が吹いてくるかな。

(たき)



PAN · · クリエイティブ · CREATIVE · · パンジーⅡ · PANSYⅡ

差異の「さ」と話を聞いた。どんなやり方をしても一枚一枚不思議な力がある。何となくわかってはいるつもりだったけど、最近、その不思議さ、楽しさが鮮明に感じられる様になった。

糸の種類、綿と羊毛では出来上がりの風合いが違う。細い糸は二本、三本と大胆に異なる色合いを混ぜて一本として使うと、微妙な調子が出る。まるで絵を描く時の絵の具の色使いだ。着物の布を裂いて織り込む裂き織り、くず糸を挟み込む、左右から二色の糸で二色織り等、一つ一つ意識してやってみると、なるほどそうかと思うことばかりだった。今、どの織り方も自由に選べる様に色々な材料が横に置いてあって、各自工夫して使っている。

4月からさをりを始めたUさん、丁寧な織り方で固く糸をつめて織っていく。その初めての布がようやく完成しそうだ。彼にとって「好きな様に」は困ったことで、何か絵や写真など実物を目に焼き付けて再現していく。今、気に入ったパンフレットの写真がなくて、それをじっと見ながら続けている。出来上がったら、広げて皆で見たい。「さをり、いいやん・・」、皆とそう感じながら、取り組んでいきたい。

(はたなか)



とても前向きです！

パンジーⅡが開所して5か月になります。新しいメンバーや職員もすっかりパンジーⅡになじみ、以前からの知り合いのような感じになりました。

最初はいい滑り出しでしたが、4月後半頃からいろいろと忙しくなってきた、あれよあれよという間に9月になりました。配食サービスも本来の目的の在宅の老人や宅老所というのがなかなか進まず、苦戦しながらやってきました。しかし配食サービスのある日はみんな「今日は何食や」「どこどこに配達にいくんや」「少ないから前の工場の人に頼みに行こう」という風にとっても前向きです。

園芸では、しそを始めとしていろいろな野菜が収穫できて、メンバーは大喜びをしています。この野菜は配食サービスのお弁当につかったり、売ったりしています。そろそろ夏野菜も終わり、秋に向けての畑仕事が始まります。

いろいろな事がありながらも、一步一步進んで行くのがパンジーらしさだと思っています。みなさん、温かい目で見守って下さい。(はまだ)





「つばさ」は夏バテ知らず！！

今年の夏は特に暑く、つばさにとっても熱い(?)夏になりました。7月には、つばさに夕食を食べに来ていたIさんが、13年暮らした文化住宅から、グループホーム「青空」に引っ越しました。さらに8月には、5月から「つばさ」に入ったUさんが、古巣の「青空」に戻ることにしました。そして、つばさには青空からTさんを迎えることになりました。と言っても、去年までつばさで2年間過ごしてきたベテランのTさん。環境の変化など無いかのごとく、つばさライフを満喫しています。他のメンバーも負けてはいません。皆さん夏バテ知らずでとても元気。これでは介護者も夏バテする暇ありませんね。



それともうひとつ。7月からつばさに新しい仲間が加わりました。その名も「アイスロボⅢ」電動のかき氷機です。メンバーの夏の楽しみにと購入したのですが、これが大好評、特にYさんは大変気に入り、夜になるとかき氷屋さんに早変わり、「これは〇〇君の」と決めて、慣れた手つきでみんなの分を作ってくれます。もうすぐ9月、アイスロボとはしばしお別れですが、次は食欲・スポーツ・芸術の秋、メンバーたちはどの秋を選んでいくんでしょうねえ・・・。

(のむら)

アウトドア「青空」

携帯の充電ができなくて、店で見てもらおうと、浸水しているとのこと、これはきっとメンバーとの外出中、大雨にあい、雨の中を結構歩いたことがあり、その時浸水したのだと思い、とりあえず耐水性のある機種に変更した。そのとき、こんな調子でことあるたびに、物を買って換えていたら、そのうち立派なサバイバルキッドができるのでは？ と少し本気で考えてしまった。

それほど「青空」が私に与える影響は大きくなりつつあるのだが、その「青空」も、8月に

新体制でスタートすることに。それぞれに個性のあるメンバーを見ると、似たものが集まった集団は、まとまりやすいがもろく、多様な者の集まった集団は、まとまりにくい、まとまれば強いと知人が言っていたのを思い出す。考えてみれば、生態系も、多様さが大切だし、野性味のあるグループホームも悪くないかも。(あおい)



からだ・いのちのこと(2)

中新井滯子

からだ、いのちの基本は食べること、出すこと、寝ることである。快食快便快眠は健康の指標といわれるが、メンバーの中には、この基本的なところでつまづいている人も少なくない。



数年間、自宅で引きこもり状態だったUさんが、4月からグループホーム(以下、GH)での生活とパンジーⅡへの通所を始めた。その間の経過については、『パンジーだよりNo.37』の巻頭に書かれているので省略するが、彼にとっての最初の課題は生活リズムを整えることだった。

朝から疲れた、しんどいと机に伏している。食欲がない、少し動く息切れがする、体温を計ると35度6分。昼夜逆転していた生活が一変し、自律神経失調状態だ。まず、身体を暖めようと、調理師さんに甘いミルクコーヒーとおかゆをお願いする。元気の出る薬だからと、一口ずつスプーンで食べてもらいうちに、悪かった顔色に赤みが出てくる。やっと身体が目覚めて、日々の活動ができる状態になってきた。

パンジーⅡ通所のために、彼の意志に反して無理に起こしても、食べたくないから朝食抜きのままでは、生活リズムは整いにくい。食べたくない動きたくないのは、決して彼のわがままではないことを認めつつ、無理にでも食べることを動くことが、こんな場合は必要だ。あれから4か月、昼食の食べっぷりもよく、体調不良感を訴えることも少なくなった。

同じようにGHの常連であるVさん。彼女は週末は自宅で過ごしている。帰宅するとすぐ決まってコロコロの便がでる。夜中も含めて数回鹿のフン状態が続いた後、日曜の夕方になってやっと普通の便になるとのお母さんの話。GHやパンジーではほとんど排便をしてない。今のところ、便秘による健康上の問題はないようだが、彼女がこんな状態であることを複数の介護者達は知っておく必要がある。食欲や排尿、睡眠の妨げになることもあるし、時には腹痛や発作の誘因にもなるからである。その上で、自宅以外でも排便できる環境づくりや手だてを考えていかねばと思う。

食べること、出すこと、寝ることは身体だけでなく、心の状態も左右する重要な行為であることは皆よく知っている。けれど、あまりにも日常的で個人的なことなので、よほど健康管理が必要な場合でない限り、多分親ですら、いちいちチェックしていないのが普通だろう。

自立生活やGHで過ごす人たちにとっては、余暇活動や金銭のこと、人間関係などもっと気になることがあり、支援者もその方に力を尽くすことになる。1日ぐらい食べなくても出なくても(尿閉は別)寝なくても、それほど気にすることではないが、日によってスタッフが異なる場合は、様子を見続ける目と状況に応じて即応できる体制はやはり必要だろう。

逆に過食や失禁のケースもある。しばらくこの話を続けよう。



エッセイマン肌勢の エッセイ 虎の穴 ①

橋くはし>

はしを通って行くと大きな長い橋があった。そこを通っていくと海が見えてきれいだった。すきとおって見えて、あおあおして気持ちよかった。

飛行機くひこうき>

飛行機が大空に向かって雲がかかって大きな入道ぐもがあたり一面にかかって、前が見えないほど、飛行機が見えないのである。

船くふね>

ふねが海を流れてこうかいをして、船がわたっていたのである。

堀くへい>

へいをこえてかべがあった。遠くのところからそこをぬけて人間が歩いていった。

蛍くほたる>

ほたるが空を飛んでいた。夜になるときれいなひかり、火が見えていてキラキラ 光っている。人が道を歩いていると一つまた二つとほたるの火を見ていた。

おまけコーナー エッセイ仙人肌勢のすんばらしい映画

シャンハイヌーン (出演: ジャッキーチェン②)

なんばの映画館でシャンハイヌーンつちゅう映画を見た。映画の幅が大きくて画面いっぱい迫力があつた。はじめは中国の方でジャッキーチェンが下のけらいに、大勢の仲間の軍兵らに入っていた。そこで姫さんとであった。それも美しい姫さんだった。

そこでこんどはアメリカの西部の方へジャッキーが旅立った。そこでアメリカ人の人間と知り合った。二人は牢屋のなかでいっしょにねとまりしていた。こんどは汽車がはっしゃするシーンだとか、大木が落ちたり投げたりして、それを手でうけとめたり、あとは中国の悪者だとかが出て、その悪者が姫さんをうばったりしている所だとか、アクションいっぱい、さいごはそのアメリカ人といっしょに去っていくので終わりでした。



注①虎の穴：劇画『ガーマスク』にてくる悪役レスラー専門の養成ジム。モデルは英国に実在した『リライ』主催の『リライジム』(通称蛇の穴)。エッセイ虎の穴というタイトル名にはレスラーの道もエッセイマンへの道もぬくくはないのだという思いがこめられている

注②ジャッキーチェン：香港映画界の大スター。身近な外国、香港に行ったらジャッキーにあえるかも(ほんまかいな)。主な主演作は「ドラゴンモンキー酔拳」「少林寺木人拳」など多数。



グループホーム diary

グループホームグルメ旅行

8月11日から12日、グループホームのメンバーと奈良県の黒滝村へ旅行にいきました。例年はメニューが豊富すぎて忙しい旅行でしたが、今年は一変してのんびりモード。圧巻は豪華な夕食。世間知らずの介護者は、メンバーともども「おいしいね」と一品ずつ平らげ



ていたら、料理が次々と出てきて、ついに20品。その後しばらく動けなくなってしまった……という大誤算。それ以外は、花火に、温泉に、ごろごろ水&コーヒーにと、メンバーもゆったりとリッチな気分を味わいました。

楽しい遊びや、観光もおもしろいけど、海や山へ出かける行程(ドライブetc)や、そこでのんびり、ゆったり過ごすのもよいな、と実感しました。 時間に追われることなく、自然の中で休息をとることのできた旅でした。(むらかみ)



「今日のお昼は何か?」



厨房のお手伝いを始めて早くも4か月が過ぎました。50名弱の昼食、そしてグループホームの夕食と、私が今までに経験したことがないような大人数の調理をするのは、とても大変な仕事です。といっても、私はその一部をお手伝いするだけなのですが……。

メンバーの2、3人が10時前後になるといい匂いに誘われて厨房の前にニコニコといい顔をして集まってきてくれます。「今日のお昼は何か?」とでも言っているようです。

50枚弱のお皿にできあがった食べ物を均等に分けるのが難しく、何度か失敗をしたり、まだまだ自分のすることに自信がないので盛りつけたお皿が足りなかったり。余ったりしたときなど、「間違えたかな?」と不安になります。でも4か月たった今、少しは要領もわかってきた感じがします。やはりたくさんのメンバーがいて、好き嫌いのある人、小食の人とそれぞれですが、食べ終わって「ごちそうさま」と言ってもらったとき、とてもホッとします。(田辺)



新人紹介パート2



おもて たかこ
表 孝子 さん



表孝子です。パンジーには5月から来ています。パンジーには自転車で30分かけて来ています。兄弟は2人で弟がいます。家にはおかあさんがいます。

好きなことはテレビでドラマを見ることや、料理をすることです。得意な料理はカレーや焼きめしです。

パンジーではハンガーを組み立てたり、弁当の配達をしています。園芸もやっていて大きなきゅうりを育てたりして、とても楽しいです。パンジーに来て、いろいろな人がいるから毎日楽しいです。

のやま たかのり
野山 高德 さん

朝、パンジーに来るとハンガーの部品を箱にいっぱい入れ、その横にストックの袋を置いてゴム付けの作業をバリバリこなしていく、仕事熱心な野山さん!! 仕事に疲れてくると気分転換に、パンジー内をニコニコ楽しそうにお散歩。誰よりパンジーに詳しいかもしれないですね(笑)

いろんな事に興味津々なので、これからいろいろな野山さんに出会えるんじゃないかなと、楽しみにしています。この前は、さをり織りに初チャレンジしましたよー!! (M)



気まぐれデビュー

紅茶のパウンドケーキ



600円

薫り高いアールグレイを使った大人の味のケーキです。

この秋、気まぐれ新発売。もちろん安心素材を使っています。

ご注文は、パンジーパン屋まで(0729-63-8837)

新人紹介



スタッフ編

にしいえつこ
西井江津子



縁あってパンジーⅡで働くことになり、オギヤーと生まれて約5か月です。やっと2ヶ月前に首がすわったばかりの西井江津子ですが、2~3年勤めているような錯覚をすることがあります。ここ3か月、毎晩のようにパンジーの夢を見る私で、うなされているのではなくNさんとミュージカルの舞台のスターだったり。etc..

他スタッフにないものをもっている私の力を全部出しきり、また、私に持っていないものを他スタッフより吸収し、今後がんばりたいと思います。

ふくおか あぐる
福岡 拳



マシンガンの如くおしゃべりをするメンバーが勢揃いするパン屋に入ってもう5か月になりました。無口な自分のキャラが変わったかと思いきや、どちらかというとマイペースを保っているような…。何はともあれ、毎日楽しくパン作りしています。しかしながら、きれい好きといいかげんさが入り混じった性格からか、当初(今も?)は掃除をするたびに何かを壊していました…。そんな私ですが、趣味はパソコン。もうすぐパンジーのホームページ作りに取り組みたいと思います。従来の施設ホームページのイメージを覆した、人間臭さに溢れたものに仕上げたいと考えています。それでは皆様、これからもよろしくお願いします。

みたてしろう
見館史郎

はじめまして。4月からパンジーⅡで働いている、見館史郎です。僕の取り柄は大きな体です。高いところのものを取る時には、使えると思うので言って下さい。

毎日、パンジーⅡに来て、メンバーのみんなと弁当の配達や軽作業などを行っています。

また、講演会の担当をしています。7月の終わりには、福岡に行きました。パンジーのメンバーが、福岡の人たちに大きな力を与えているのを感じました。これからも、良い講演がしていけるように支援していきたいと思っています。

大きな体が「独活の大木」にならないように頑張っていきます。よろしくお願いします。



スタッフ編

新人紹介



くほ みか
久保 美華



今だに高校生に間違えられる(笑)、そんな私がパンジーに来て早いもので、もう5か月が経ち、馴染んできたなと思ってます！ パンジーに来て一番驚いた事は、昼休みにメンバーが外に出ていることです。今まで行った作業所では、朝来ると帰るまで建物の中から外に出ることができなかったのですが、パンジーでは昼休みにメンバーが自分の行きたい所(コンビニや、喫茶店)に行っている姿は、私には驚きでした。でも、それって普段私たちが当たり前に行っていることだと気づき、のびのびした開放的な空気が魅力的に感じました。

のんびりと構えていて、マイペースな自分の持ち味をいかしながら、他のスタッフのいい所を見習い、またメンバーにもいろんな事を教わっていきたいと思ってる、今日この頃の私です。

こじろ たえこ
古城 妙子

パンジーⅡの玄関に入ってすぐ横にある厨房で、食材に囲まれて1日のほとんどをすごしています。パンジーⅡのオープンとともにパンジーの仲間入りをさせて頂いた古城です。

実は、パンジーに来てから始めて手にする食材もちろほらあり、できあがるまでドキドキしています。人は1日30品目以上摂取するとよいと言われていますが、その一部分のパンジーの昼食では、身体にやさしく、なるべくたくさんの品目が摂れるよう作っていききたいなあとと思っています。よろしくおねがいします。



よしだ みつえ
吉田 光枝

2年前からピアカンのお手伝いをしていたのが縁で、パンジーに就職しました。今はグループホームの担当をしています。ピアカンに参加していたメンバーとは、そのときからのお付き合いなので、今でもとても仲良くしています。他のメンバーさんたちとも、もっと仲良くなりたいと思っています。そして、グループホームを利用して、自立への道を歩むメンバーを応援したいと思っています。



新人紹介

スタッフ編

4月からパンジーで、通所の自動車を運転している3人にインタビューしました！

きしだ ふみかず
岸田 文一 さん



Q:趣味は？ A:つりで、日本海にチヌを釣りに行く。

(腕前は?)10のうち、8というところ。プラモデルを作ったり、浪花節もやる。カラオケは演歌やな！

Q:北島三郎でしょう？ バスでかかっていたもん。

(十河さんが「見た目どおりや!」)

Q:パンジーに来ての感想は？ A:けがさせたらあかん、パニック にならんように、と気をつけて運転している。

パンジーではみんなの中でわいわいやっていて、岡本くんや青山さんとよく話している。人間は温厚な顔にならなあかん。それが、なかなかむずかしい。(Y)

そごう しげいち
十河 繁市 さん

Q:趣味は？ A:いっぱいあるからな...つりやな。磯釣りが好きでチヌやグレを釣る。ブラックバスも釣るで。

Q:歌がプロ並みと聞きましたが。ジャンルは？

A:ブルース。フランク永井や。「夜霧のブルース」。

Q:パンジーの感想は？

A:一番感じたことは、職員が親切でやさしいこと。私は障害者に関わることは今までなかったが、抵抗はない。みんなと接していたら、やさしい気持ちになれる。いい感じで運転できる。自分の子どもと同じくらいの年頃やから、自分の子どものような感じがするわ。(Y)



かねだ としお
金田 利夫 さん

Q:趣味は？ A:学生時代に野球をやりました。今もやりますよ。それと山登り。四条畷から野崎、生駒山、信貴山、金剛山など登りますよ。足の運動のため、歳をとってくるとやっぱり足は大事。女房が「行こう、行こう」というので一緒に行ってます。空気がおいしい。えらいけど登った後、汗びっしょりかいて帰ってからシャワーを浴びる、これが気持ちいい。

Q:いつも穏やかでニコニコと送迎メンバーのを見ておられますね。

A:「みんなの送り迎えは事故なく無事に...それが一番」

(N)

